

文章を書くことが苦手な児童の作文指導(1)

アセスメントの実施

WISC-Ⅲ及び「絵の読み取り検査」等の実施



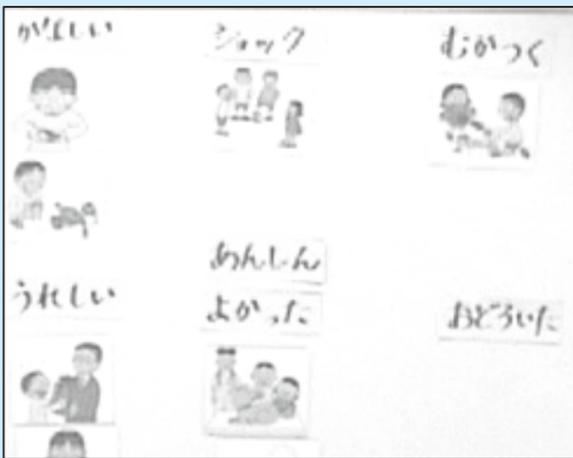
【絵の読み取り検査の結果】
 (指導開始時期の書きの様子)
 「私は、この絵を見て、気がついたことは、雨の日に、男の子が、お花に水をあげていることです。二つ目は、木が「ありがとう」といっている見たいです。」

- ・気持ちや考えを入れた文章を書くことが難しい。
- ・時系列で短文は書けるが、長文を構成して書くことが難しい。

◆WISC-Ⅲの結果からは、(1)順番に暗記することが得意、(2)いろいろな要素をまとめて全体を構成することが苦手、といった実態も明らかになりました。

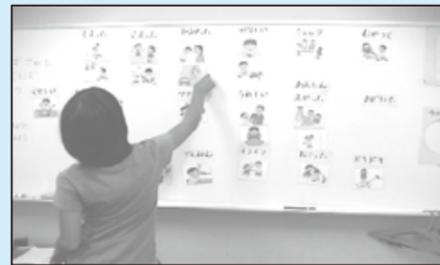
指導目標と指導の手だて

★ 様子や気持ちを表す言葉を入れた作文が書けるようになろう！



気持ちの言葉のマッチング

◆絵カードと気持ちを表す言葉を一致させていきます。

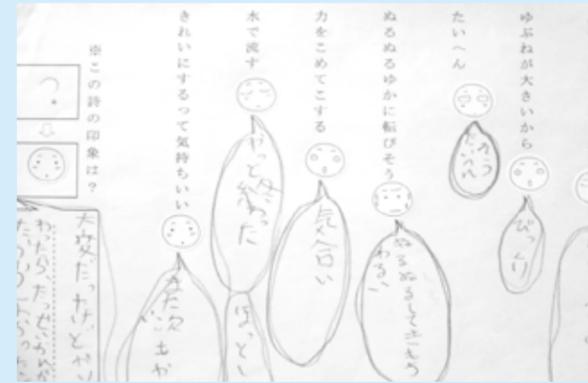


指導の手だて

- ★気持ちの言葉の理解
- ★詩を使った気持ちの読み取り
- ★体験したことで文章構成

一様子や気持ちを表現する言葉を使って一

詩を使った気持ちの読み取り (指導内容・方法の工夫)



◆詩の場面や気持ちの移り変わりを表情シールや絵、吹き出しを使って分かりやすく再現できるようにしました。

体験したことを写真で文章構成 (指導内容・方法の工夫)



◆文章の全体の構成が分かるように、体験したことを写真で順番に示しました。

指導の成果

◆体験したことに沿って、自分の気持ちや考えを入れた作文を書くことができるようになりました。



「きんちょうする」「心の中で笑った」など、自分の気持ちや考えを入れた作文を書くことができました。



★在籍学級では、学級担任が気持ちを表す言葉を使うように、様子を見守ったり、適宜言葉掛けの支援を心掛けてくれたりしてくれました。

- ◆詩などの短い文で感情を読み取る学習が、気持ちを表現する指導に有効であることが分かりました。
- ◆長文を構成して書くことを目標とする児童の場合には、自分の体験を時系列で整理することが有効であることが分かりました。